

デルタ ファーストインプレッション

今回も仕事から、幸せなことに噂のデルタに、オゾンの工場から着いた段ボールを開けた直後に乗ることができました。



その魅力を、是非みなさんにお伝えしたいと思います。

時期が時期だけに、弱いサーマルコンディションでグライダーの全ての動きがわかるわけではないのですが、その特性は感じ取ることができました。

最近のオズンは、はずれがない！このことは誰もが認めることで、今や注目度世界1のメーカーになってしま

ったようです。R10が世界中のコンペで大活躍の最中なので余計にデルタが気になっちゃいます。

振り返ってみるとこの5年位のパラは「どれを買ってもはずれはないよ」「好きなメーカーで選べば」みたいな勧め方をするインストラクターやベテランの方が多かったのではないのでしょうか。それだけ、最近のグライダーは完成されているという裏返しではあるのですがなんだか寂しい感じもありました。ちなみに私自身試乗する前からワクワクすることはこのところ少なかったです。

ところが、マントラR10に乗ってからは世界が変わりました、新たなパラグライダーの可能性が見えたというのは大げさではありません。

で、デルタ。すごく待ちました。やっとデルタ。

すごくよかったです。



まず、グライダーを開いてみて、ああやっぱりと思ったのは、リーディングエッジの上から下までバシッと骨が入っていました。しかも上面のは凄くながくてBラインの取付けタブ真上付近まで。R10は、畳むのに時間がかかりますのですがそこまでいかないにしてもやっぱり丁寧さが必要なのはすぐにわかりました。

今までのパラと違うのはAラインの

取付タブを全て横一直線で合わせないときれいに畳めないことです。(R10は、Bも合わせないといけない)

慣れると問題ないとは思いますが、今までの気軽という感じではいかなくなるでしょう。儀式だと思っただけありません。今までがズボラ過ぎたのかもしれませんが。自分がオーナーだったら多分集まってくる人にうんちくを垂れているかもしれません。

それで肝心の乗り味はというと...これが普通というか乗りやすいのです。ブレークのストロークはしっかりあるほうで、けっしてクイックではなく非常にニュートラルです。R10がマニアクに振らず自然なフィーリングで仕上げたのと似ているかもしれません。(ちなみにMサイズを真ん中より軽めで飛んでいます)



興奮して書いているので、説明が逆になってしまいましたがライズアップは翼全体がきれいに上がり無風でも全く問題なし。(画像の吹流しを見てください。ほぼ無風なのに綺麗に上がっているでしょ!)

ただ、頭上にきてから少し走る傾向もある気がしましたが個人的には好きなフィーリングです。(その時に軽くブレークを引くとほとんど助走しないでテイクオフできるから)

R10では、できなかった翼端折り。普通に出来ました。問題ありません。

アクセルは、ボールベアリング入りのプーリーで「軽っ」と思わず声が。フルアクセルは、石川遼君のドライバーショットのようです。

風切り音が気持ちイェ！しかも、翼のブレが感じられませんでした。これは、怖くなく踏めてしまうので踏むのが癖になりそうな感じでした(踏みすぎに注意!)。R10もそうなのですがあまりにも快適に踏めてしまうので勘違いしてしまわないようにしましょう。なかなか潰れませんが潰れるとそれなりに激しいです。

フルアクセルから思い切りわざと潰してみ

ましたが、1-2から乗り換える人は注意したほうがいいと思います。やっぱりEN-Cですからそれなりです。慣れるまでは、バンバンアクセルを踏まないほうがいいです。ちなみにアクセルを踏まなければ記者会見の時の遼君のように大変優等生です。





真ん中のオゾンマークが隠れるぐらい片翼潰しをしてみましたが大抵バンと激しい音をかけて回復。少し振られましたが大抵カウンターなしでOKでした。強烈なウイंकをされた程度です。基本的に大きく潰れなさそうな感じでいっばいの翼です。(ただし、メーカーは、マヌーパトレーニングにおける潰れの確認や潰れた時の対処の練習として、故意に行う片翼潰しならびにフロント

潰しは、しないように勧告しています。これは、Aラインの取り付け位置が普通のグライダーより後ろ側によっているため、Aラインを引きこんで潰すと、潰れが必要以上に大きくなってしまいます。))

おそらく、このグライダーを買う候補に入れている方は非常に多いでしょう。多分試乗したら間違いなく買ってしまいます。実にイイです。先進的なグライダーって癖があって玄人好みののかなーって思うかもしれませんが、オーラをまといながらジープで気軽に飛べるような雰囲気があって私は大好きです。

昔のオゾンユーザーは、オクターンって良かったよね、ヴァルカン好きだったな、アディクトのフィーリングが、などとノスタルジーに浸っているかもしれませんがそこで踏みとどまるとはいけません。「昔のほうが良かった」なんて懐古的なことをいう方。乗ってみてください。昔の残像が吹き飛ぶことでしょう！短い試乗でしたが幸せな時間でした。

みやび はじめ より